

松山大学 薬学部 医療薬学科

6年制

かけがえのない「くすりのプロ」をめざす

くすりと健康のサイエンス

2015年 学部案内

松山大学で学ぶ “6年間の処方せん”から、 専門性と人間力を身につける。

「病気で悩んでいる家族が近くにいたから」、「素敵な薬剤師さんの笑顔に助けられたことがあるから」、
薬剤師をめざすきっかけは、人それぞれ。一人ひとりのおくすりが違うように、一人ひとりの思いも違います。
その思いに寄りそったテラーメイド感覚の教育を、と本学部は考えています。
薬剤師に必要な専門知識と技術を学ぶとともに、医療人としての自律心、強い倫理観、探究心、創造性などの
「人の生命にかかわるために欠かせないもの」を身につけていきます。
6年間を通してのカリキュラムは、いわば共通の“処方せん”。
その上で、あなたらしいプロフェッショナルへと大きく成長してほしい。歴史と伝統に裏打ちされた
91年の実績がある松山大学だからこそできる、社会のニーズとあなたの個性に応じたきめ細かな教育が、
ここにも脈々と受け継がれています。



CONTENTS

❶ 特集 活躍する卒業生

- 03 活躍のフィールド
- 04 卒業生レポート

❷ キャリアサポート

- 07 キャリア・就職支援

❸ 薬学部の学び

- 09 学びの流れ
- 11 カリキュラム
- 17 座談会
- 19 在学生の声
- 22 研究室訪問
- 23 研究室紹介
- 24 教育研究施設

❹ インフォメーション

- 27 キャンパスライフ
- 33 奨学金・納付金・学生サポート／イベント情報

※この学部案内に掲載している学生の
年次は2013年度時点のものです。

Pharmacy for Human Life

沿革

地域の信頼と期待に応える 薬学部として。

松山大学は、1923年(大正12年)創立の松山高等商業学校を前身として開学。幅広い分野の第一線で活躍する多くの卒業生が輩出し、高い評価を得ています。本学部は、これまでに培った地域の厚い信頼を背景に、愛媛県初の薬学部として開設されました。今年は大学開学91周年を迎え、さらなる進化をめざします。

1923(大正12年)



▶ 1949(昭和24年)



▶ 1989(平成元年)



▶ 2006(平成18年)



松山大学薬学部は、本学の建学の精神ともいべき校訓「三実主義」を教育理念とし、「強い倫理観をもった社会に有用な薬剤師ならびに薬学関連分野で幅広い知識や人類福祉に貢献できる実践力を有する高度専門職業人を養成すること」を目的として、薬学教育転換期(4年制から6年制への移行)である2006年4月に開設されました。近年、高度化・多様化する医療、高齢社会などの環境変化を背景に、社会が薬剤師に寄せる期待、責任は大きく重いものです。本学部は、長年培われた大学の伝統および新しい学部としての柔軟さの両面を活かし、「時代が求める薬のスペシャリスト」の養成をめざしています。

学部長 古川 美子

松山大学 薬学部 アドミッション・ポリシー

薬学部医療薬学科では、薬学がかけがえのない人の命に関わる学問分野であることを自覚した上で、医療人としての自律心や強い倫理観をもち、進展する医療現場において活躍できる質の高い薬剤師を目指す学生を求めております。さらに、探究心と創造性に富み、医療あるいは創薬科学、生命科学の分野等において活躍することを目指す学生も求めています。

1

特集

Matsuyama University
College of
Pharmaceutical
Sciences

活躍する卒業生



薬学の知識を活かせる仕事例

病院薬剤師

調剤業務はもちろん、病院では医療スタッフの一員として医師や看護師らと協同しながら治療にあたるのも大切な役割。薬の効能や副作用の情報を提供し、薬の選択や使用方法についてアドバイスすることも仕事の一つです。

薬局薬剤師

医師が発行した処方せんを受け取り、調剤業務と服薬指導を行います。また、医薬品の購入、医師による受診および生活や健康面に関する相談に応じることも大切な役割です。

ドラッグストアの薬剤師

購入者の相談に乗りながら市販の薬を販売。自分で健康を管理する「セルフメディケーション」の必要性が高まるなか、地域に密着したドラッグストアは、身近な健康アドバイザーとして重要な存在になっています。

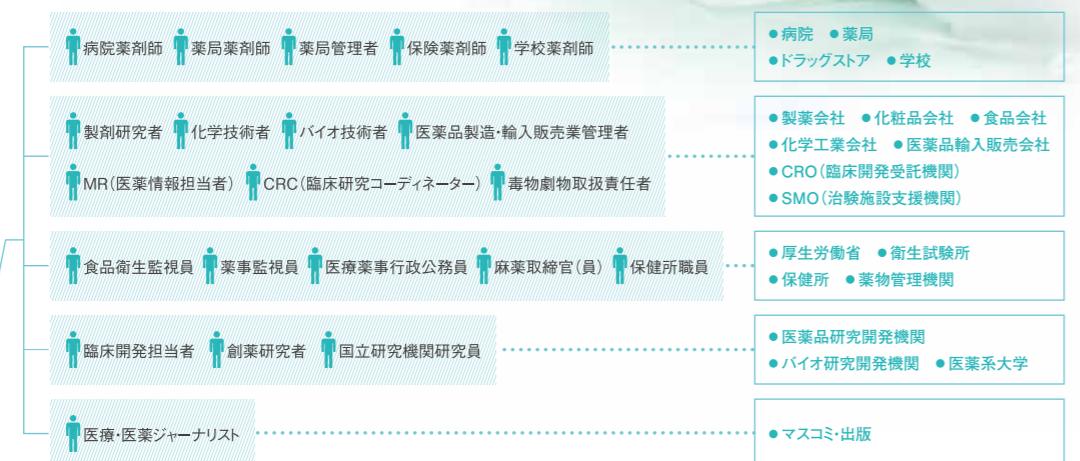
学校薬剤師

学校薬剤師は、幼稚園、小・中・高校に置くことが義務づけられています。快適な学校環境づくりのための指導や助言を行います。

活躍のフィールド

薬学の知識を生かし、さまざまな活躍の場へ。

薬学に関する高度な専門知識を身につけた人材は、現在、社会のあらゆるシーンで必要とされています。医療機関や薬局、製薬企業、化学関連企業、医療行政機関など、活躍のフィールドはまさに多種多様です。



卒業生レポート

現在の仕事内容は？大学時代に学んだことがどのように生かされている？各方面で活躍する松大薬学部の卒業生たちに、聞いてみました。

仕事内容

日々のルーティンワークのほか院内講習会で講師も担当。

療養病棟および透析センターの薬品管理、調剤、注射薬調剤、院内製剤、抗がん剤などの無菌調製、消化器センターにおける外来患者への服薬指導。これが私の主な一日の仕事です。このほか、ときには院内講習会で講師を務めることもあります。医師たち病院スタッフの前で話をするのは緊張しますが、自ら進んで参画することで薬剤師という存在をアピールしていきたいと考えています。また、院外講習会でも率先して質問をすることを心がけています。「頼りにされる薬剤師」への道のりは、そうした積極的な行動の積み重ねではないでしょうか。

松山大学で学んだこと

長いようで短かった6年間。
勉強を一生懸命、頑張った。

医師から薬について問い合わせがあると、大学で学んだ幅広い知識が役立つことを実感します。副作用や相互作用について、薬剤師は医師以上の知識を持っています。だから代替案の提案をはじめ、いろいろなアドバイスができます。その精度を高めるには今後の経験値も大事ですが、土台は大学時代に培われたものです。最初「6年は長いな」と思いましたが、振り返るとあっという間でした。とても親身に指導してくださった薬局実習も忘れられません。とにかく勉強は一生懸命、頑張りました。



病院
調剤

薬学部を選んだきっかけ

父も母も薬剤師。父は私の小学校の学校薬剤師も務めていたので、校内でも頻繁に見かけました。その姿に自然に憧れたのでもう、5・6年生のころから「自分も薬剤師に」と意識し始めました。松山大学を選んだのは、とても街の環境が良さそうだったからです。

医療法人聖比留会 セントヒル病院 勤務

瀬戸 洋一郎 さん
松山大学 薬学部 医療薬学科 2012年3月 卒業
(山口県 宇部フロンティア大学付属 香川高等学校 出身)



病院
調剤

仕事内容

チーム医療の一員として、がんという病気と向き合う。

四国がんセンターは、がんを専門に扱う病院です。しかし、一口にがんといってもいろいろなものがあり、進行具合などでも対処法が変わってきます。薬の種類も内服薬・注射薬などさまざまですし、同じ薬でも飲み方が違ってくることもあります。このように多種多様なケースがあるため、医師・看護師らと連携して患者さんを治療しなければなりません。チーム医療において薬に関して責任を持つ、これが薬剤師に求められる役割です。私は血液と泌尿器の病棟を担当し、患者さん一人ひとりと深くかかわることを心がけています。

松山大学で学んだこと

人と環境に恵まれたキャンパスで、よく学び、大きく成長できた。

学生時代を振り返ると、「楽しく過ごした」という感想が真っ先に頭に浮かびます。私は有機化学研究室に所属していましたが、同級生はみんなとても仲が良く、「全員で国家試験に合格しよう」という連帯感がありました。人間関係の大切さは今、多くの患者さんと接していくとも感じます。だからこそ、人に恵まれていた松山大学は薬剤師としての私の原点。6年間はあっという間です。思ったことはすぐに行動に移すことを、後輩の皆さんにはお勧めします。素晴らしい環境が整った松山大学で、ぜひいろいろなことに挑戦してください。

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 勤務

森 千夏 さん
松山大学 薬学部 医療薬学科 2012年3月 卒業（愛媛県 済美高等学校 出身）

薬局

調剤



仕事内容

患者さんの立場に立った行動を。「ありがとう」の笑顔がうれしい。

愛媛県内を中心に四国および中国地方に広く店舗展開するレディ薬局で、調剤や服薬指導を担当しています。近隣の整形外科をはじめ、松山市内の大きな病院のあらゆる処方せんを取り扱っており、またドラッグストアも併設しているため、さまざまな方が来店されます。まさに患者さんの事情は十人十色、それぞれの立場に立った振る舞いを常に肝に銘じています。気配り、心配りが患者さんの笑顔につながります。その「ありがとう」の笑顔が、私たちのやりがいになっています。

松山大学で学んだこと

コミュニケーション能力や責任感が大きな財産に。

薬の知識はもちろんのこと、責任感と協調性は学生時代に育まれ、プロとして大きな財産になっています。生薬学研究室に所属して身近な植物の成分研究に取り組んでいたのですが、周りの仲間たちとはいつも連携しながら情報や実験器具を共有していました。また学内の薬用植物園の一般公開においては、来園者の皆さんに園内の薬草を説明する役も担いました。こうしたことからコミュニケーション能力や責任を持って業務を遂行することの大切さを学びました。先生方もとても丁寧にご指導ください、今も感謝の気持ちでいっぱいです。

薬学部を選んだきっかけ

私は一度、社会人を経験してから松山大学に入学しました。そこには「公共性の高い薬剤師をめざそう」という大きな目標がありました。薬剤師への道を選んだ背景には、家族に医療従事者がいることも関係していると思います。松山という土地にも縁故がありました。

株式会社レディ薬局
レディ薬局新空港通り店 勤務

内倉 崇 さん 松山大学 薬学部 医療薬学科 2013年3月 卒業 (鹿児島県 ラ・サール高等学校 出身)

公務員

生活衛生



仕事内容

食の安全性を守るために薬剤師としての知識をフル活用。

飲食店やスーパーの新規営業許可申請およびその監視業務が、主な仕事です。「衛生上問題がないかどうか」をしっかりチェックするのは、食中毒を未然に防ぐために大切なこと。万が一起きてしまった場合は、その原因究明に当たります。そのとき役に立つのが、薬剤師としての知識です。医師や患者さんから話を聞いて状況を把握し、原因を特定します。その後、営業停止などの行政処分を下し、感染拡大を防ぎます。このほかにも、相談があれば食品の放射能検査を手がける業務も行っています。

松山大学で学んだこと

粘り強い姿勢は学生時代に。コミュニケーション能力の研鑽も。

衛生化学研究室で細菌の研究をしていました。研究はトライ＆エラーの繰り返しで、正直心が折れそうになることもあります。そこで身についた粘り強さは今の業務に役立っています。もちろん細菌をはじめウイルス、検査、法律などあらゆる知識がトータルで生かされています。また、大学時代にはいろいろなことにチャレンジして視野を広げ、「聞く力」「伝える力」などのコミュニケーション能力を磨いておくことも大切。県民の皆さんと接するうえで、そのスキルは欠かせないと実感しています。

薬学部を選んだきっかけ

「人の役に立つ仕事をしたい」と医療関係の仕事に漠然と憧れたのが最初です。大学5年のとき実習を通して「いろいろな場面で専門性を生かしたい」と考え、公務員を志望しました。県職員なら行政、病院、保健所、研究所とさまざまな立場で活躍することができます。

愛媛県西条保健所 生活衛生課 勤務

伊藤 樹里 さん 松山大学 薬学部 医療薬学科 2012年3月 卒業 (愛媛県立 松山南高等学校 出身)

薬局

調剤



仕事内容

一人ひとりに丁寧に応対。信頼してもらえることが喜び。

隣接する脳神経外科をはじめ、幅広い処方せんを扱っています。いつも心がけているのは、ゆっくりと大きな声で話すこと。一人ひとり、しっかりと時間をかけて伝えるように努めています。ある血圧が高めの女性は、薬を飲み続けることに不安を感じておられたのですが、なるべく安心いただけるよう丁寧に応対したら、次回から顔と名前を覚えて声をかけてくださいました。その後は、食生活やプライベートなことなど、自然と話ができるようになりました。患者さんに信頼していただくことは、薬剤師としてとてもうれしいことです。

松山大学で学んだこと

学んだ知識、実習での経験が役立っていると感じる。

薬物動態や薬効薬理など大学で学んだ知識は、今のベースになっています。私が勤務しているのは岡山県倉敷市にある比較的小さな店舗ですが、大きな総合病院の前の薬局に手伝いに行くこともあります。さまざまな現場に行くたびに、「実習での経験が役立っている」と感じています。大学の研究室では、ある化合物に安定性を増すフッ素をいかに付加するかという研究に取り組みました。これから薬剤師として、まだまだ学ばなければならないことは多くあります。地域の薬剤師会の勉強会にも参加し、「一生勉強」を胸に頑張ります。

薬学部を選んだきっかけ

小学生のとき将来の夢を「薬剤師」と書きました。その後、出身高校のすぐ近くの松山大学に薬学部が誕生することを知り、「よし、地元で学ぼう」と考えました。憧れだけではなく、「しっかりした資格を取得して長く活躍できる仕事を」という判断もありました。

総合メディカル株式会社
そうごう薬局児島店 勤務

本田 幸 さん 松山大学 薬学部 医療薬学科 2012年3月 卒業 (愛媛県立 松山北高等学校 出身)

企業

MR



仕事内容

病院や薬局を訪問して医薬品の情報を提供・収集。

MR(メディカル・リプリゼンタティブ)とは、医薬品メーカーの医薬情報担当者のこと。医療機関を訪問して、自社製品の情報を提供、あるいは逆に情報を収集します。ときには説明会を開いてより深いPRに努めることも。私の現在の担当は北九州市八幡西区エリアです。アポイントをとって病院や薬局を訪問しますが、多いときは一日それぞれ10件近くになります。仕事をしていくにつづく感じるのは、コミュニケーションの大切さです。どこに何をどれだけお届けしているか。きちんと把握したうえで、必ずお礼をお伝えするように心がけています。

松山大学で学んだこと

卒業論文のための実験をはじめ薬学部での学びが現在の活力に。

大学時代は、薬剤師の資格取得をめざして頑張りました。ちなみに、薬学部出身者はMR認定試験で試験科目が3科目中2科目免除されます。あらかじめ薬理学の知識などもあるので、とても試験対策はスマーズでした。研究室で卒業論文のための実験に取り組んだことや、6年間ドラッグストアでアルバイトしたことも忘れない思い出です。また、研究室での学生生活やアルバイト体験が就職活動に生かされました。大学時代にいろいろなことを経験しておくと、思わぬところで役に立つのではないでしょうか。

大正富山医薬品株式会社 九州支店 勤務

岡 祐也 さん 松山大学 薬学部 医療薬学科 2012年3月 卒業 (愛媛県立 新居浜西高等学校 出身)

2



キャリアサポート

就職支援体制

総合大学ならではのダイナミックなバックアップ体制で、学生が早くから自分の進路を設計できるよう就職支援に取り組んでいます。キャリアセンターの就職指導担当者が随時個別相談に応じるほか、入学当初からアドバイザーモードを導入し、教員が学生の適性を把握したうえで相談に応えています。1年次から就職への意識づけを行い、5年次以降は本格的な就職活動を見据えた実践的な対策で学生一人ひとりをサポートします。



内定者コメント

夢を掴んだ先輩が語る、理想の就職への道。

よつば循環器科クリニック

専門分野の知識を深めて、チーム医療の一員として頼られる薬剤師をめざしたい。



小西 みちるさん
薬学部 医療薬学科 6年
愛媛県立 伊予高等学校 出身

きっかけ

病院実習をきっかけに、自分の適性を考えた。

「小さな病院の方が私には向いているかも」と考えるようになったのは、5年生の病院実習がきっかけ。例えば患者さんへの服薬指導や医師への疑義照会も、物理的に人との距離が近い環境が自分にとって好条件のように思つたのです。私の勤める病院は循環器科クリニックなので、専門分野に特化してスペシャリストをめざせるところにも魅力を感じました。知識を深め、チーム医療の一員として信頼される薬剤師になるのが目標です。

アドバイス

現場の方の声や、研究室の先輩の意見も参考に。

薬剤師の国家資格を生かして活躍できる場は多様です。就職活動は机上の資料だけで決めるのではなく、現場に足を運んで見学したり、スタッフの方にお話を聞いたりすることが大事です。私も実際に薬剤師の方々の活躍ぶりや病院の考え方について、「ここで働きたい」と思いました。また最も身近なアドバイザーとして、大学の研究室の先輩たちの声も参考になります。研究室ではそうしたつながりができるのも魅力ですよ。

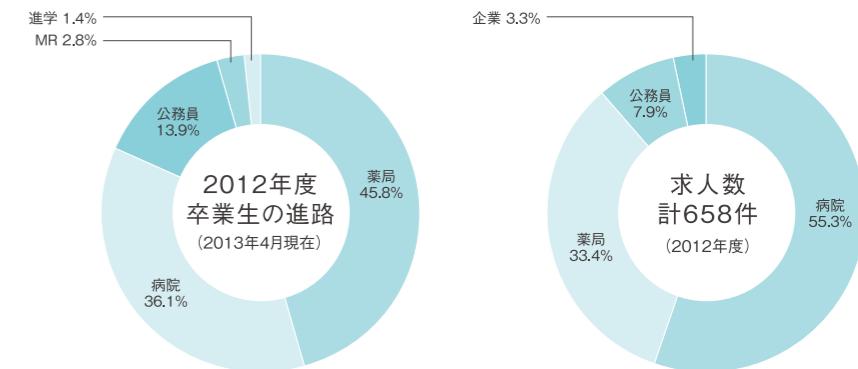
キャリア・就職支援

一人ひとりの夢を叶えるキャリアサポートが充実。

就職・進学実績

就職進学率

就職進学率
100%
(2013年4月現在)



就職実績 (2012年度卒業生実績)

■ 病院

愛媛大学医学部附属病院
永頼会松山市民病院
済生会松山病院
天真会南高井病院
愛媛県民主医療機関連合会
宇和島社会保険病院
北斗会大洲中央病院
広島赤十字・原爆病院
健貢会総合東京病院
弘正会西京都病院
德州会大和德州会病院
よつば循環器科クリニック
弘友会加戸病院
昭和原田整形外科病院
寿会富永病院
和昌会貞本病院
松山平成会平成脳神経外科病院
繁愛会石川病院
博慈会記念総合病院
旭調剤薬局
イオンリテール
ドレミ薬局
わかば薬局
ブルーコロス調剤薬局

■ 薬局

ainphafarmasize
レディ薬局
日本メディカルシステム
日本調剤
あい薬局
阪神調剤薬局
湯川薬局
ハッピーフーマシー[®]
イオンリテール
旭調剤薬局
ドレミ薬局
わかば薬局
ブルーコロス調剤薬局

■ 製薬企業

大塚製薬(MR)
進学
九州大学大学院
公務員
愛媛県職員上級
高知県職員(県立病院)
宇和島市職員(市立宇和島病院)
西予市職員

資格取得

本学部を卒業することにより、薬剤師国家試験の受験資格を得ることができます。ほかにも、医療・製薬分野をはじめ、行政機関などでも生かせるさまざまな資格を取得することができます。

薬剤師であれば取得できる資格

高度管理医療機器等営業管理者
麻薬管理者
毒物劇物取扱責任者
第一種衛生管理者
食品衛生管理者
食品衛生監視員
環境衛生指導員
特別管理産業廃棄物管理責任者(感染性産業廃棄物)

薬剤師であればその取得に特別の配慮が払われる資格の例

健康食品管理士
作業環境測定士(第1種、第2種)
公害防止管理者(大気2種、水質2種)
環境測量士(濃度関係)

薬学部を卒業した者が取得できる資格の例

向精神薬取扱責任者
麻薬取締官・麻薬取締員
薬事監視員
水道技術管理者
特別管理産業廃棄物管理責任者(感染性産業廃棄物以外)
一般廃棄物処理施設または産業廃棄物処理施設の技術管理者

3



薬学部の学び

学びの流れ

次代の薬剤師に求められる資質を、6年間で養う。

6年制に最適化された教育プログラム

情報化、高齢化などの急激な社会変化のなかで、薬や医療の役割も変わろうとしています。松山大学薬学部は、6年制という薬学教育の歴史的転換期に合わせて誕生しました。新設学部ならではの柔軟性を生かし、社会の変化にいち早く応える新しい教育プログラムを導入。従来の4年制に単に2年間増えたという考え方ではなく、6年間という特性を生かしてトータルでとらえた教育を実践しています。高度化する医療現場、多様化する薬学関連分野のニーズに合った人材を育成します。

1
年次

2
年次

3
年次

4
年次

5
年次

6
年次

薬学の基礎と医療人としての素養を身につける。



特徴

生命の尊厳や薬剤師(=医療人)としての自覚を促す内容を学ぶとともに、人文・社会・自然科学を幅広く学び、豊かな教養や人間性を養います。また、薬学の基礎となる各専門科目の講義が始まります。

時間割

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|----------|-------|--------|-------------|
| 1 | 初習言語 | 有機化学I | 生化学I | 基礎無機化学 |
| 2 | 薬と健康の歴史 | 生葉学I | ヒトの生物学 | 初習言語2 物理化学I |
| 3 | 初習言語 | 中級英語 | 中級英語 | 分析化学 |
| 4 | | | | |
| 5 | 薬学基礎実習II | | | 初習言語 |
| 6 | | | | |

講義と本格化する実習により薬学の基礎を固める。



特徴

物理系、化学系、生物系など専門分野の基礎科目によって、薬学の基礎をしっかりと固めます。本格的な実習科目がスタートし、専門知識に加えて技能も磨きます。

時間割

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|-------------|-------|-----------------|---------|
| 1 | 微生物学II 初習言語 | 放射化学 | 漢方学 | 衛生薬学I |
| 2 | 薬理学I 生化学III | 生物物理学 | 免疫学 | |
| 3 | | | 有機化学III マーケティング | 医薬品情報学 |
| 4 | 実習 | 実習 | 実習 | 機能形態学II |
| 5 | | | | 医療心理学 |
| 6 | | | | 薬品合成化学 |

専門知識を深め医薬品の本質を理解する。



特徴

医療薬学科目によって、薬の使い方、人体への影響など、医薬品の本質について学びます。また、衛生薬学や微生物学などの実習も行い、さまざまな薬学分野に直結した知識と技能を磨きます。

時間割

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---------------|---------|---------|---------|
| 1 | | 医療制度論 | 医薬品化学II | 病理病態学 |
| 2 | 薬物治療学I 薬理学III | 病態生理学II | 製剤学 | 薬物動態学 |
| 3 | | | | 医薬品情報学 |
| 4 | 実習 | 実習 | 実習 | 医療心理学 |
| 5 | | | | 薬品合成化学 |
| 6 | | | | 衛生薬学III |

実務実習と卒業研究に向けて知識と技能を修得。



特徴

これまでに学んだ知識を演習形式により確認するとともに、服薬指導や調剤などの実務能力を磨く授業を受けます。学年末には病院・薬局実習の資格を評価する薬学共用試験を受験。また、研究室に配属されて卒業研究が始まります。

時間割

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---------|---------|------|---------|
| 1 | 臨床薬剤学 | | 治験薬学 | 医薬品安全性学 |
| 2 | 治験薬学 | 臨床薬剤学 | | 内科学 |
| 3 | | | | 内科学 |
| 4 | 病院・薬局薬学 | 病院・薬局薬学 | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |

*内科学は旧カリキュラムの科目

病院・薬局の現場実習で薬剤師の実務を体験。



特徴

病院薬剤部と保険薬局で、22週間の実務実習を実施。実際の業務を経験し、実務で必要な応用力や患者さんとの接し方など、学内だけでは得られない即戦力となるスキルを鍛えます。また、卒業研究に取り組み、研究心を養います。

カリキュラム

| | |
|-----|---------|
| 4月 | 卒業研究 |
| 5月 | 病院・薬局実習 |
| 6月 | 夏季休暇 |
| 7月 | 夏季休暇 |
| 8月 | 病院・薬局実習 |
| 9月 | 病院・薬局実習 |
| 10月 | 卒業研究 |
| 11月 | 冬期休暇 |
| 12月 | 卒業研究 |
| 1月 | 春期休暇 |

卒業論文の作成とともに専門知識を総まとめ。



特徴

これまで取り組んできた研究を卒業論文にまとめるとともに、6年間で修得した知識を総合薬学演習で総復習し、薬剤師国家試験に備えます。

カリキュラム

| | |
|-----|--------|
| 4月 | 卒業研究 |
| 5月 | 夏季休暇 |
| 6月 | 卒業研究発表 |
| 7月 | 夏季休暇 |
| 8月 | 総合薬学演習 |
| 9月 | 卒業研究 |
| 10月 | 総合薬学演習 |
| 11月 | 冬期休暇 |
| 12月 | 卒業研究 |
| 1月 | 春期休暇 |

POINT 総合大学のメリットを生かした教育体制。

POINT 医師・薬剤師を含む優れた教授陣。

POINT 県下に広がる緊密な病院・薬局ネットワーク。

POINT 国家試験に対応した強力なサポート体制。

薬学だけにとどまらない幅広い知識。教養豊かな薬剤師の養成をめざします。松山大学には文系学部における長年の教育実績があり、開講科目も充実しています。総合大学としてのメリットを生かした学部間連携により、さまざまな分野を学ぶことができます。



薬学部の専任教員は、30代の若手からベテランまでバランスのとれた組織を編成。臨床系教員9人を含む教員全員が博士の学位を取得しています。



薬剤師国家試験の受験資格を得るために、病院・薬局での実習が義務づけられています。松山大学薬学部では、愛媛県内にある46の病院および180の薬局と連携し、それぞれの現場で11週間にわたる、きめ細かな実習を受けることができます。



松山大学薬学部では、国家試験に対応した講義・演習を設定。また、各研究室の教授陣による個別指導、自己学習のためのパソコンソフトの導入・活用など、あらゆる面から学生をバックアップできるよう学部をあげて取り組んでいます。



カリキュラム

プロフェッショナルめざして、着実にステップアップ。

薬のスペシャリストとして、人の心と健やかな社会を支えることができる薬剤師をめざしてステップアップ。

6年間という学びのプロセスを通じて、学生は着実に成長していくことができます。

薬学の専門領域を網羅した基礎薬学系科目と医療薬学系科目、そして人文・社会・自然科学系科目、

言語文化系科目を、多角的・効果的に学ぶカリキュラムを用意。

さらに、医療に携わる薬剤師としての倫理観や人間性を養う科目を、バランスよく配置。

確かな「人間力」を持った優秀な薬剤師として、社会に貢献できる人材の育成をめざします。

POINT 1

薬を使いこなす力

薬剤師として薬を使いこなすためには健康に関する知識も必要。

薬(物質)と健康(身体)、両方の専門知識や実践的な技能を身につけられます。

POINT 2

医療を実践する力

医療人として求められる強い倫理観と優れたコミュニケーション能力、

そして幅広い教養を身につけられます。

身につく力

POINT 3

未知を探求する力

病気の原因究明や新薬開発に取り組むために、

先端技術や科学的思考を学び、未知に挑戦する力を身につけられます。

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 |
|----------|--|---|--|-----------------|--|-----|
| 共通教育科目 | ○生命倫理学 哲学 論理学 倫理学 宗教学 地理 文学 言語学 芸術 民俗学 文化史 文章表現 比較文化論 薬と健康の歴史 社会科学概論 法学 政治学概論 教育学 社会学 歴史 経済学 経営学 國際事情 地域と福祉 女性学 國際関係論 ○基礎無機化学 ○ヒトの生物学 数学 自然科学概論 環境科学 統計学 情報科学 心理学 コンピュータ概論 地球と人間 認知科学入門 ○ITスキルズ | | | | | |
| キャリア教育科目 | キャリア教育 | インターンシップ活用 インターンシップ研修 | | | | |
| 言語文化科目 | スタンダードコース 基礎科目 ○基礎英語 ○初級英語(発表) ○初級英語(受容) ○初級英語(発表) ○初級英語(受容) ○中級英語(発表) ○中級英語(受容) 初習言語(ドイツ語、フランス語、中国語、ハングル、スペイン語) 外国語検定I-II 英語プレゼンテーション 英語コミュニケーション 英語ライティング 英語リーディング TOEIC対策 | | | | | |
| 健康文化科目 | 応用科目 | 英語テーマ別講座 海外語学研修 ほか | | | | |
| | | | | | 5年次の病院・薬局実習に参加するための条件として、「その学生が必要かつ十分な基礎的知識を身につけている」ことを大学が保証する目的で実施されます。 | |
| 専門教育科目 | 専門導入科目 ○医療薬学への招待 ○薬学数学 ○薬を理解するための基礎物理学 ○薬を理解するための基礎物理化学 ○薬を理解するための基礎分析化学 ○薬を理解するための基礎有機化学 ○薬を理解するための基礎生物学 | | | | | |
| | 基礎薬学科目 ○物理化学I ○生薬学I ○分析化学 ○生化学I ○有機化学I 薬用植物学 ○物理化学II ○有機化学II ○生化学III ○機能形態学II ○機器分析学 ○有機化学III ○微生物学I ○衛生薬学I ○生物物理学 ○生薬学II ○微生物学II ○免疫学 ○放射化学 ○生化学II ○機能形態学I | ○物理化学演習 ○衛生薬学II ○構造解析学 ○衛生薬学III ○機械化演習 コンピュータ化学 ○機能形態学III 薬品合成化学 | ○生化学演習 ピックアップ 2 | | | |
| | 医療薬学科目 ○漢方学 ○薬理学I 医薬品マーケティング | ○物理薬剤学 ○病態生理学II 医療制度論 ○生物薬剤学 ○医療薬学 臨床栄養学 ○製剤学 ○調剤学 医療経済学 ○薬物動態学 ○薬物治療学I ○医薬品化学I ○薬理学II ○医薬品情報学 医薬品化学II ○薬理学III ○医療心理学 ○病態生理学I 病理病態学 | ○臨床薬剤学 ○病院・薬局 薬学I ○生物薬剤学 ○医療薬学 ○病院・薬局 薬学II ○薬理学演習 医用機能性高分子学 ○薬物治療学II 食品香料機能学 ○実践社会薬学 細胞分子医学 ○治験薬学 化学療法学 ○医薬品安全性学 | ピックアップ 1 | ○医薬品情報学演習 ○病院・薬局 薬学I ○実践臨床薬学 ○臨床医学 | |
| | 実習科目 ○薬学基礎実習I ○薬学基礎実習II ○有機化学系実習 ○物理化学系実習 | ○生化学・薬理学実習 ○微生物学・衛生薬学実習 | ○薬剤学・製剤学実習 ○病院・薬局事前実習I ○病院・薬局事前実習II | | ○病院実習 ○薬局実習 ○薬学専門英語 ○総合薬学演習 | |
| | 総合薬学科目 | | ○薬学基礎演習I ○薬学基礎演習II ○卒業研究 | | | |

○:必修科目

授業科目ピックアップ

1 医薬品化学I・II

薬の効き目と化学構造の関係を知る。

この授業では、薬効と化学構造の関係について学びます。化学構造の中のどの部分が、それぞれの薬の効き目にとって重要なポイントになっているのか。いろいろな分野の代表的な薬を取り上げて見ていきます。化学ベースの知識を持っていれば、薬を名前ではなく性質のまとまったグループとして関連付けることができます。「災害時などに代用が利く、利かない」の判断もできるようになり、医師や患者さんに対してきちんと説明できる力を身につけることができます。



教授
岩村 樹憲
医薬品化学研究室



准教授
山口 巧
臨床薬学教育研究センター

2 病院・薬局 薬学I・II

知識を臨床に生かすシミュレーション。

7人の教員が担当する、オムニバス形式の授業です。これまで学んできたことを踏まえ、実際の医療現場ではどのように問題を解決していくべきか。具体的な症例を取り上げて、各人が自分なりの解決策を模索します。その考え方を持ち寄り10人前後でディスカッションし、グループごとに意見をまとめています。教科書で習ったことを臨床現場でどう生かせばいいかを考えることは、学生にとって初めての経験です。大いに議論を重ねましょう。



実習プログラム

多くの実習を重ね、知識だけでなく技能や医療人としての心構えを身につける。

本学部のカリキュラム構成では、多くの時間を実習プログラムにあてています。

実習科目は、各分野の講義科目で学んだ知識を実践することによって理解を深めたり、専門的な技能や態度を修得するために行います。

また、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力もしっかりと身につけていきます。

薬学基礎実習 1年次

薬学生としての自覚、医療人としての心構えの修得をめざして。

入学後の早い時期から薬学生としての自覚を養うために、薬学基礎実習Iを開講。救急救命法講習を受けたり、卒業生の話を聴講するなどして、薬学生としてのモチベーションを高めます。また、後期に行う薬学基礎実習IIでは、その後のさまざまな実習を行っていくために必要な基本的知識、技能、態度を培います。例えば、実験に臨む時の心得、試薬や器具の取り扱い方、実験レポートの作成方法など。さらに薬剤師の活躍する現場を実地見学することで医療における薬剤師の役割および重要性を知る「早期体験学習」も、薬学基礎実習の一環です。これらを踏まえたうえで、学生たちは2年次以降に行われる実習全般に備えることになります。



早期体験学習



円滑な学修と進路選択のために、医療施設や製薬企業を早い段階で見学。

早期体験学習とは、学生が将来携わる業務の一端を「早い段階で見聞しよう」というものです。ここで学びは、将来の進路を選択する場合はもちろん、6年間にわたる薬学教育の学修を円滑かつ適切に進めていくうえでの大きな一助になると考えられます。実際に医療施設や製薬企業を見学し、生命にかかる医療の担い手となる社会的使命を自覚。また、高い意識と将来の目的達成をめざして専門教育科目に取り組む姿勢も身につけていきます。その理解の深度やどのようなことを学んだかについては、後日提出するレポート、アドバイザーごとのSGD（スマールグループディスカッション）などの振り返り学習を通して、しっかり確認していきます。

実務実習事前学習 4年次

病院・薬局での現場実習に備えて、学内で事前にしっかりと知識を身につける。

5年次になると薬学部の学生は全員、薬局と病院において延べ22週間の実務実習を行います。それに先立って、基本となる知識・技能・態度を身につけるための事前学習を実施。事前学習では、薬剤師の社会的使命、関連法規、薬剤師倫理を学び、調剤・処方せんの読み方や流れ、薬剤管理指導業務、無菌製剤の知識なども修得。また、医薬品の管理、一般用医薬品の取り扱い、注射薬の配合変化や処方設計、医薬分業の意義、保険薬局での実務について基本的な知識を修得します。さらに、TDM（薬物治療モニタリング）や中毒、感染予防などの患者背景を踏まえた具体的な事例を学び、地域医療、地域保健、災害における薬剤師の役割など医療提供体制について総合的に学習します。



病院・薬局実務実習 5年次

学外での実習はそれまで学内で学んできた「知識」を「経験」として生かす学びの場です。

現場を肌で感じ、将来の判断材料にも。

保険薬局で11週間、病院薬剤部で11週間と、長期にわたる学外での実習。薬剤師業務の現場を肌で感じ、情報化社会における医薬品の取り扱い方などについても学んでいきます。薬剤師の活躍の場は多彩なので、「どの道に進もうか」と迷っている学生にとって、それぞれの業務を体験できることは将来を考える格好の判断材料になります。また、薬剤師は「患者さんに信頼されてこそ」ということを、あらためて実感する貴重な経験にもなるはずです。

実習は医師、看護師らと協同で一人ひとりの患者を見る「チーム医療」を意識する絶好の機会。地域の薬局へは、連携する病院の医師たちから薬に関する問い合わせが多く寄せられます。病院は、言うまでもなくチーム医療が緊密に行われる場所です。こうした社会の動向、時代のニーズに即して、松山大学薬学部では愛媛大学など他大学の医療系学部との連携教育の重要性にいち早く着目。中国・四国地域でも先駆けて、カリキュラムに取り入れています。



注射薬の調製は無菌室で慎重に行う。



同じく実習中の仲間たちと切磋琢磨。



薬剤師同士の情報共有も欠かせない。

学生コメント Student Voice



愛媛県立中央病院で現在、実習中。
患者さん一人ひとりに合わせた飲み方の提案も。

現在、愛媛県立中央病院の薬剤部で実習中です。病院薬剤師の役割は通常の調剤業務に加えて注射薬や輸液の調製、ベッドサイドでの服薬指導などさまざま。やるべきことは多いですが、患者さんのデータを一元的に管理しているのでやりやすさを感じています。薬局実習は小児科クリニックの近くの薬局で行いましたが、総合病院では扱う処方せんも多種多様です。患者さん一人ひとりに合わせた薬の飲み方も提案しなければなりません。まだ知識と経験不足を痛感する毎日ですが、もっと勉強して将来は愛媛県内で薬剤師として活躍したいと考えています。

長田 龍典 さん 薬学部 医療薬学科 5年 愛媛県立 南宇和高等学校 出身

MESSAGE

愛媛県薬剤師会 会長からのメッセージ



チーム医療に柔軟に対応できる薬剤師が求められています。

松山大学は、県内唯一6年制の薬学部を設置している大学です。薬剤師会が寄せる期待も大きく、学生の学びを広くバックアップしています。まず1年次には、薬局の見学を行う1日早期体験学習の学生を受け入れます。5年次には薬局実務実習がありますが、この時も同様に学生を受け入れ、調剤や服薬指導の経験の場を提供します。その他、実習前に受験

愛媛県病院薬剤師会 会長からのメッセージ



緊密に連携しながら、「信頼度の高い薬剤師」養成を。

処方せんに従って、間違いのない調剤を行う。これは薬剤師の基本中の基本ですが、しかしそれだけを遵守することが薬剤師の役割ではありません。病院のベッドサイドに出向き、患者さんやその家族、医師や看護師らともコミュニケーションを図りながら「薬のプロ」として適切に対応する能力が求められます。そのためには新しいことを日々吸収する姿勢も大切です。さらに、

薬学部での6年間は「研究する心」を養う期間もあるといえます。松山大学薬学部は、愛媛県薬剤師会、愛媛県病院薬剤師会、愛媛大学とも連携しながら、優秀な薬剤師の地元輩出に尽力しておられます。愛媛大学医学部との連携授業に代表されるように、今後その結び付きはますます強くなっています。

愛媛大学との連携

3つの学科による合同授業、「チーム医療学習カリキュラム」。



2009年度から始まった愛媛大学との合同授業。松山大学薬学部医療薬学科・愛媛大学医学部医学科・看護学科から総勢約260人の学生が一堂に会して行なわれます。チーム医療という言葉が象徴するように、今はそれぞれのプロが専門領域の垣根を越えて患者をみる時代です。そのときに必要となるのが、他分野への理解。それを踏まえてこそ、各々の役割やチームとして協同すべきこともあらためて見えてきます。今後あらゆる可能性を模索しながら、合同授業をはじめとする連携カリキュラムは発展的に展開していく予定です。例えば医学部と連携することにより、病院におけるフィジカルアセスメント(患者の体に触れて症状を分析すること)の授業も可能になるなど、多様なメリットが考えられます。

講演会

毎回特定の分野の専門家をゲストスピーカーに招いて、約1時間かけて講演してもらいます。がん、感染症、HIVなど、テーマはさまざま。学生はメモを取りながら聴講します。その内容について、後のグループワークで話し合います。



愛媛大学医学部内の大講堂での講演会風景。

全体発表会

グループワークで話し合った内容をもとに、3つのサブグループに分かれてプレゼンテーション。それぞれのまとめや成果について、学生自身の言葉で最終的な報告を行います。「どうか、こんな考え方があったのか」などと発見や気づきもいろいろあります。



4時間かけて行われる合同授業のハイライト。

グループワーク

20以上の小グループに分かれてディスカッション。それぞれに教員がチーフとして立会いますが、話し合いの主体は学生自身です。取り上げられているテーマの問題点は何か、その解決に向けてどんなアイデアがあるか。活発な意見が飛び交います。



医学、看護学、薬学の学生たちが熱心に議論。

薬学共用試験

知識・技能・態度を総合評価。実技試験と多肢選択試験の合格に向けて。

薬学共用試験とは?

薬学共用試験は、全国の薬学部で統一的に行われる試験です。主に知識を評価する客観試験CBTと主に技能・態度を評価する客観的臨床能力試験OSCEの2つがあり、4年次末に実施されます。薬学共用試験に合格した学生が、5年次の病院・薬局実務実習に臨むことができます。

CBT (Computer-Based Testing)

基本的な知識を有しているか否かを客観的に評価する目的で行います。パソコン画面上に表示される問題を次々に解答していきます。5つの選択肢から正解を選ぶ形式で、合計310題が出題されます。このときの問題は受験生ごとに異なっていますが、全出題を通しての難易度は変わらない仕組みになっています。

OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

基本的な技能と態度を評価する試験で、“オスク”と呼びます。「患者・来局者応対」「薬剤の調製」「調剤監査」「無菌操作の実践」「情報の提供」の5つの領域から出題されます。課題ごとに「ステーション」と呼ばれるブースが設けられ、受験生は合団に従って各ステーションを順に回り、指定された項目を規定時間内に実施します。



学生コメント Student Voice



ほとんど国家試験を受けるつもりで臨んだCBT。
短期集中型の指導のおかげでOSCEも無事合格!

入学から今日まで学んできたことの仕上げとして、4年次の最後に学力テストのCBTと実技テストのOSCEを受けます。特にCBTはほとんど国家試験を受けるつもりで臨みました。5年次になると学外に実習に出たりして忙しくなるので、勉強するなら今だと思いました。調剤や服薬指導のシミュレーションを行うOSCEでは大変緊張しましたが、事前に先生方が短期集中型の指導をしてくださったおかげで無事合格。松山大学には学びの環境が整っていることはもちろん、熱心な先生や先輩方がおられることが魅力です。さらにしっかり勉強して、憧れの薬剤師をめざします!

野本 梨紗 さん 薬学部 医療薬学科 4年 愛媛県立 松山北高等学校 出身

薬剤師国家試験(受験サポート)

一人ひとりに合ったバックアップ体制。

総合薬学演習

6年次に設けた「総合薬学演習」では、それまで学んだ薬学のすべての知識・技能を総復習し、包括的な講義・演習を行います。学生がそれぞれの弱点を克服し、自信を持って国家試験に臨めるように、しっかりと実力を伸ばしていきます。

国家試験対策ソフト

自己学習を助けるためのツールとして、過去10年分の薬剤師国家試験問題とその解説を集約した学習システムソフトも活用することができます。設問に答えると、得意分野や苦手分野が自動的に分析・評価されるので、より効率的な受験対策を練ることができます。

アドバイザーリスト

教員アドバイザーは、薬剤師国家試験に不安を抱いている学生にとって、心強い指南役。一人の教員が10人程度の学生を受け持ち、個別の学習相談などに応じています。また、必要に応じて勉強会やセミナーなども開いています。

学生コメント Student Voice



単元ごとのテスト、パソコンや研究室での自学自習、傾向を踏まえた先生方の的確なサポートがとても心強い。

6年次になると、薬剤師国家試験に向けて先生も学生も一丸となる雰囲気があります。毎週単元ごとのテストを行う総合薬学演習もスタート。またパソコンでいつでも自学自習できるなど、勉強に集中できるベストな学習環境が用意されています。さらに各研究室には自習スペースもあるので、友達と教え合うことも、わからないことがあります。先生方に質問することもできます。先生方は過去の傾向を踏まえて対策を立て、熱心にサポートしてくださるので、とても心強いです。絶対みんなで合格して、患者さんからも医師からも頼られる薬剤師になりたいと思っています。

一色 咲貴子 さん 薬学部 医療薬学科 6年 愛媛県立 松山南高等学校 出身



僕たち、私たちの、 松山大学薬学部での6年間。 「ここを選んで正解だった！」

薬剤師になりたいと思った理由は十人十色。

でも松山大学を選び、6年間を共に過ごしたことで、ここに集った学生たちは一つの大きな仲間意識で結ばれています。

今、旅立ちのときを控えた6年生が、松山大学という大学の魅力をあらためてどう感じているのか、そしてどんな社会人になろうとしているのか。

それぞれの思いを聞きました。

**松山大学薬学部を選んだ理由や
入学してみて良かったと思うことは？**

■多田 いくつかの大学のオープンキャンパスに参加したのですが、「ここで学びたい」と最も強く思ったのが松山大学でした。人がすごく温かいというか、雰囲気がとても良いというか。また、私のように親元を離れて進学する者にも「安心して暮らせそうな町」という印象も受けました。

■渡邊 人に恵まれているというのは、実際に入学してからも感じますね。先生方がとても親身で、卒業研究についても熱心に指導していただけます。

■一色 私は医療系の資格を取りたいと考えて、薬剤師をめざすことにしました。看護師とかいろいろ考えたけど、やっぱり地元の松山大学の存在は大きかった、と今あらためて思います。

■棟廣 それはありますね。私は薬剤師資格そのものにも強く魅力を感じました。これさえあれば、どこでもいつでも自立して生きていける(笑)。

■小西 私は母も松山大学出身で、税理士資格を持っています。「何か資格を取っておくのがいい」とアドバイスされて、じゃあ私は一番新しい学部の薬学部で薬剤師をめざそうと。

■一色 新しい施設・設備が揃っているというのは、確かに大きな魅力だと思います。その最新の環境で、



4年生のときは薬学共用試験も受けることができたし、先生方にもしっかりバックアップしていただきました。

■多田 国家試験対策でも先生方の支援はすごく頼もしいですね。授業以外でも何か質問すれば、とても丁寧に答えてくださいます。

■渡邊 学費が安いことも魅力じゃないでしょうか。

■一色 薬局・病院での実習費や国家試験対策費なんかも、授業料に全て含まれていますから。

**薬局・病院での実習実習の思い出は？
それが就職を考える契機にもなった？**

■多田 実習ではより実践的なことを学んだ気がします。私が実習実習を行った薬局では小児科の処方せんを多く扱っていて、ほとんどが粉薬です。その飲み方を、小さなお子さんをお持ちのお母さん方などに指導しました。説明の仕方をどう工夫すればいいかなと、とても勉強になりました。

■棟廣 私は実習実習を経験したこと、病院や保健所などさまざまな活躍の場がある公務員が自分に向いているのではと考えるようになりました。

■小西 みんな多かれ少なかれ、実習実習での体験をもとに将来を具体的に意識するようになったのではないか。私も患者さんとの距離が近いクリニックや専門病院で働きたいと思うようになりましたから。現場を知ることは、将来を考える上でとても大事な判断材料になると思います。



■渡邊 僕は生薬関係に興味があったので、西洋薬と漢方薬の両方を取り扱っているところがいいなと考えました。それで、その希望に合った松山市内の薬局へ。

■一色 私は東海エリアを中心に薬局を展開する会社に就職します。愛媛県内にはまだ1店舗しかないのですが、これから出店計画もあるらしいので、いずれは地元にUターンできればという将来的な思いも視野に入れて選びました。

**それぞれの道を歩み始める皆さん、
これからの抱負を教えてください。**

■棟廣 公務員になる私は現時点ではまだ配属先が決まっていませんが、どこで働くことになっても、そこで目標達成に向かって一生懸命努力したいですね。

■多田 自分の中の理想像に向かって、私たちは松山大学からよいよ大きな一步を踏み出します。「この大学を選んで正解だった」と、6年間を過ごした学生ならきっと思っているはずです。

「ずっと成長し続ける人間でありたい」という気持ちでいます。私たち一人ひとりの努力が、後輩たちを後押しすることにもつながっていかなければならないでしょう。

■小西 卒業後に進む道はそれぞれ違っても、松山大学で学んだことはみんなのベースになって大いに生かされていくと思います。私の就職するクリニックは循環器系の専門病院です。当然、薬剤師にも専門知識が要求されます。その特定分野の薬のプロフェッショナルになっていきたい、と目標を抱いています。

■渡邊 僕は日々の業務と合わせて、自分自身の研究活動にも力を入れていきたいと考えています。漢方か、あるいは大学で学んだ有機化学か、臨床薬学か…。これからも私なりのテーマを追い求めていきたいですね。



■一色 薬剤師になるからには、患者さんからも医療従事者からも頼られる存在になるのが夢です。そのためには豊かな知識と思いやりの心の両面が欠かせません。もちろん経験知も必要でしょう。

■多田 自分の中の理想像に向かって、私たちは松山大学からよいよ大きな一步を踏み出します。「この大学を選んで正解だった」と、6年間を過ごした学生ならきっと思っているはずです。



対談メンバー


多田 友美 さん
薬学部 医療薬学科 6年
香川県立 三木高等学校 出身

内定先 (株)フロンティア

大学の近くで初めての一人暮らし。周辺は学生街なので若者たちが多く、スーパーマーケットやお店も充実していて楽しい学生生活でした。キャンパスは松山市内の中心部にあり、とても便利ですよ。


渡邊 元喜 さん
薬学部 医療薬学科 6年
愛媛県立 今治南高等学校 出身

内定先 同源堂

昔からサッカーやバドミントンに親しんでいた僕は、大学生になっても社会人チームでフットサルとバドミントンしていました。好きな科目は化学なので、有機化学研究室に所属。


一色 咲貴子 さん
薬学部 医療薬学科 6年
愛媛県立 松山南高等学校 出身

内定先 たんぽぽ薬局(株)

薬剤師の資格を持っておけば将来は安泰!? そう思って松山大学にやってきました。勉強を頑張る一方で、週1回の華道部の活動がいい息抜きになりました。お免状ももらったのです！


棟廣 亮子 さん
薬学部 医療薬学科 6年
愛媛県立 松山中央高等学校 出身

内定先 愛媛県職員(専門職)

ずっと飲食店でアルバイトをしていました。たくさんのお客さんと接しているうちに、薬剤師に欠かせないコミュニケーション能力も磨かれたのでは？ 我が家にも私の財産になりました。


小西 みちる さん
薬学部 医療薬学科 6年
愛媛県立 伊予高等学校 出身

内定先 よつば循環器科クリニック

夏や春の長期休暇になると、友達と一緒にあちこち旅行に行きました。大阪、京都、福岡…どこも楽しかったなあ、と思い出します。勉強はもちろん大事だけど、リフレッシュも大切！



在学生の声

在学生たちは、松山大学で学ぶことや、薬学部での学びの面白さを、どのように感じているのでしょうか。先輩たちの声に耳を傾けてみましょう。

1
年次

アットホームな環境で学び、 地元で頼られる薬剤師に。

実家の隣が薬局だったため、小さいころから薬剤師という存在を身近に感じていました。「白衣を着てみたい」という漠然とした憧れを抱くようになり、松山大学のオープンキャンパスに参加。専用の機械に薬の粉を入れて錠剤を作るデモンストレーションを見て、「おもしろそう!」と感じました。実際に入学して思うのは、他学部と比べて人数が少ないせいか、先生や先輩とのつながりが深く、みんなとても優しく接してくれるところ。ただ勉強は予想以上に難しく、高校で習ったことをさらに深く掘り下げて学んでいる感じです。薬学部生には国家試験に合格するという大きな目標があるので、現在の基礎的な学びを土台に、これからあらゆる知識を吸収していく気持ちはあります。卒業後は香川県に戻り、地元の薬剤師として活躍することが目標です。

こんな薬剤師をめざしています！

人と話すことがあまり得意ではないのですが、それでは日々多くの患者さんに接する薬剤師の仕事は務まりません。これからもっとコミュニケーション能力を磨いて、自分の人間力を高めたいと思っています。薬局の窓口に来られる多くの方から、信頼され慕われる薬剤師になりたいです。

薬学部 医療薬学科 1年
小割 加奈子 さん 香川県立 善通寺第一高等学校 出身

3
年次

こんな薬剤師をめざしています！

総合病院内の薬局で働くことが目標です。薬の種類はどんどん増えているので、最近はドクターもシステムを利用して処方せんを出することが多いのですが、それだけに頼らず専門知識を直に伝えられる薬剤師になりたいです。6年間勉強して取得する国家資格なので、就職先は県外もいいかなと悩み中です。

薬学部 医療薬学科 3年
伊藤 志穂 さん 愛媛県 新田高等学校 出身

自分の知識を再確認できる実験。
座学にはない楽しさを感じる。

高齢化が進む社会で、「医療」の大切さを感じ始めたのは中学時代。糖尿病を患う祖母がいるので、薬を専門的に学んで家族に正しい使い方を伝えたいと思ったのが、薬学部を選んだきっかけです。松山大学は高校生のときに、検定試験の会場として利用したことがあります。自宅から通えるので親しみがありました。予想通りキャンパスの雰囲気は明るく、中でも薬学部は新しい学部なので設備が充実しています。最新の器具を使う実験は講義の再確認になり、座学では味わえない楽しさを感じています。また化学全般に詳しなくなるので、日常生活の中でも「この洗剤を混ぜると塩素ガスが発生する」といった危険性を具体的にイメージできるようになりました。勉強量は多いですが、薬や人体構造などに興味があり、将来の目的が明確な学生には、最適な学びの場だと思います。

2
年次

勉強することが楽しくて仕方ない。 興味深い科目がいろいろ。

「薬剤師の勉強って大変でしょう?」と聞かれるのですが、今はとにかく楽しくて仕方がありません。学んでいるとさまざまな知識が、点と点がつながって線になるように、だんだんつながってくる。その発見がとても面白いと感じます。実習も多いので、講義で学んだ反応式について「こういうことか」と体験を通して実感できます。最近行った「物理化学系実習」では物質の溶解度や吸着現象について実験しました。実験は2、3人で行いますが、学生みんなで支え合う連帯感があるのは実習の魅力だと思います。そのほか漢方について学ぶ「生薬学」、さまざまな微生物の役割を知ることができる「微生物学」など、興味深い科目はたくさんあります。年次が上がれば勉強の内容ももっと高度になっていきますが、「それも楽しみ」とワクワクしています。

こんな薬剤師をめざしています！

言われたことだけをやるのではなく、患者さんにさりげなく気づかいのできる薬剤師をめざしたいです。すぐには無理かもしれませんから、きっと経験も大事ですね。家族や友達も薬剤師になることを応援してくれているので、みんなの役に立てる存在に成長したい。そして地元に貢献したいと考えています。

薬学部 医療薬学科 2年
高橋 詩音 さん 愛媛県立 松山西中等教育学校 出身

4
年次

こんな薬剤師をめざしています！

中学生のころに入院した際、とても丁寧な服薬指導をしてくださった薬剤師さんが印象に残っています。誰にでも分かりやすい説明ができ、皆さんに信頼していただける存在になるのが目標です。できれば地元の高知県に貢献したいという思いが強いのですが、MRにも憧れています。

薬学部 医療薬学科 4年
西森 大祐 さん 高知県立 高知西高等学校 出身

病院・薬局実務実習に向けて
最新の設備でしっかり学ぶ。

「最新の設備で薬学を学びたい」と思い、松山大学に進学しました。薬学部は講義だけでなく、実験や実習など多く、あつという間に4年が過ぎました。愛媛大学との連携授業では、医学科や看護学科の学生とのグループワークを通して「チーム医療で薬剤師が果たす役割とは何か」を考えました。授業の最後に、話し合った内容をまとめ成果として発表します。他のグループの発表では違った意見もあり、さまざまな発見がありました。4年次の冬には、5年次の冬での病院・薬局実務実習に向けて、薬学共用試験があります。今まで学んできたことを確認する学力試験(CBT)と技能試験(OSCE)の2つ。どちらも学内で受験できるので、普段からの積み重ねが大切です。高校時代、剣道部で精神力が鍛えられたので、本番は落ち着いて臨めると思います。



在学生の声

5
年次



薬局での実習で新しい選択肢を意識。 恵まれた人間関係の中で研究にも集中。

医療に従事したい、生涯役立つ資格を持ちたい。そんな思いが重なって、薬学部に進学しました。高知出身の私にとって、同じ四国の松山大学はとても親しみやすい大学。薬学部としてはまだ新しい方ですが、それだけに施設・設備がきれいで、何より自分たちで歴史をつくっていくことができる!と魅力を感じています。5年次では病院・薬局での実務実習を行いました。そのとき製薬会社のMRの方と接する機会があり、「この方面で活躍するのも素敵だな」と考えるようになりました。薬のプロと一口に言ってもいろいろな選択肢があることを知りました。研究室では尿などの臨床検体を調べることによって、病気の診断や健康状態の把握に貢献しようと研究に取り組んでいます。わからないことがあれば先生や先輩たちからしっかりサポートがあり、人間関係も最高ですよ。

こんな薬剤師をめざしています!

薬局に来られる方は何か疾患をお持ちの方。暗い気持ちで見える方も多いと思います。そんな皆さんを一人でも笑顔にして差し上げるような、明るく元気な薬剤師をめざしています。地域の薬局、病院、製薬会社のMRと、今は就職先を幅広く考えていますが、いずれにしても根本の思いは変わりません。

薬学部 医療薬学科 5年
岡田 波乃さん 高知県 高知学芸高等学校 出身



卒業研究および卒業研究発表会



客観的な視点で検証する論理的思考能力と問題解決能力を養う。

本学部では4年次の前期に各研究室への配属が決まります。まずは薬学共用試験までの個別指導、5年次では実務実習と並行して6年次の前期まで卒業研究を行います。基本的に自らが所属する研究室で実施。教員とのディスカッションやセミナーを通して、研究の手順を学びます。卒業研究での大きな目的は、自らが能動的に考え、研究における課題を発見し、解決策を見出すことのできる力を養うことです。物事を客観的な視点で検証することにより、論理的な思考力を身につけます。

自らの研究内容について、 教員・学生の垣根を取り払い議論する。

6年次の前期終了時(8月下旬頃)に、薬学部全体で卒業研究発表会を実施します。本学部では、学生が個別に研究内容の発表を行うことを必須としています。この発表会では、全教員と全学生が一堂に会し、約1年にわたり研究成果を発表すると共に討論を行います。学生は研究内容を提示し、その成果をわかりやすく説明。質疑応答する能力も身につけます。普段は指導する側とされる側の教員と学生が、お互いの垣根を取り払い、一科学者として熱心に議論します。一方、よくまとまった研究成果については学会で発表する機会もあり、一層の探究心を養います。



研究室訪問

松山大学薬学部では、どんな研究が行われているのでしょうか。
それぞれに特徴的な2つの研究室を探訪してみましょう。



薬品分析化学 研究室

教授 明樂 一己

1981年岐阜薬科大学薬学部製薬学科卒、1983年同大学院薬学研究科博士前期課程修了。ロンドン大学バークベックカレッジへの留学経験も。薬学博士。



分析に必要な蛍光試薬も開発。



臨床検体を機器で分析する。

正しい薬物治療を行うための、「縁の下の力持ち」。

病態や薬効・毒性の評価法を開発。

病院などにおいて正しい薬物治療を行うためには、それぞれの病気の状態や医薬品の薬効・毒性を正しく評価することが必要です。そのためには、分析化学的な学びが欠かせません。この研究室では血液、尿、呼気(息)といった「臨床検体」の分析法について研究するとともに、病態や薬効・毒性の評価法の開発を医療関係者と連携して進めています。また、これらの過程で新しく見つかった代謝物の構造解析なども、大事なテーマ。「メタボノミクス」という手法で網羅的に測定するなど、新しい取り組みも行っています。

「分析化学的素養」を育てる。

こうした研究活動を通じて、めざしているのは、高度な分析化学的素養を持った薬剤師の養成です。分析化学とは、何が、どこに、どれだけあるかを知るための方法を研究する学問。医学・薬学などあらゆる自然科学の基礎といえます。新しい分析法によって新たな発見が導かれることも多く、いわば分析化学は「縁の下の力持ち」です。日々小さな気づきや大きなワクワクが待っています。これから世の中に役立つ「バイオマーカー(生物学的指標)」が生まれる可能性も無限大。「研究する心」を大切に、一緒に挑戦してみませんか。



薬理学 研究室

教授 古川 美子

1974年京都大学薬学部製薬化学科卒、1976年同大学院薬学研究科修士課程修了、1980年京都府立医科大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。



先進の施設を活用して各種薬理実験を行う。



神経細胞の顕微鏡写真。

「薬がどのように効くか」を、説明できるように。

最も重要な器官「脳」について研究。

薬は人間の体にどう作用するのか。それを研究するのが、薬理学という学問です。医薬品にはいろいろな種類がありますが、私は脳神経に作用する薬を主な研究対象として取り組んでいます。脳は体に指令を出すコンピュータのようなもの。コンピュータが壊れれば、それにつながるパーツは誤作動を起こします。体の中でも大変重要な器官なのです。現在は脳神経の研究も進み、さまざまな手法が開発されました。これまで使ってきた薬の作用点も明らかになっています。こうした最新の情報をもとに、独自の研究を進めています。

柑橘由来成分が、脳を活性化。

その研究とは、愛媛県の特産品である柑橘類から脳神経系に効く成分を探そうというものです。生産者のご協力を得て研究を進めていると、果皮の中に脳に有効な作用をもたらす可能性のある物質を発見。現在さまざまな病態モデルの動物を用い、その作用を解析しているところです。これまでに得られた研究結果については、特許を申請しました。将来的には新たな認知症治療薬などの開発につながれば、と期待しています。大切なのは「あきらめない気持ち」。皆さんも夢に向かって進むチャレンジ精神を忘れないでください。

研究室紹介

幅広い分野の最先端に挑む、研究室からメッセージ。

基礎薬学から応用薬学まで、さらに医療系分野など、本学部には幅広い分野を扱う13の研究室および臨床薬学教育研究センターがあります。

2014年度、大学院医療薬学研究科(4年制博士課程)が設置され、研究室横断的に組織された専門領域で研究が進められます。

薬学の最先端に挑むそれぞれの研究室から、担当教員のメッセージを紹介します。

薬品分析化学研究室



分析化学を薬学にどのように応用できるのかを追究。

明樂 一己 教授
見留 英路 准教授

生薬学研究室



古くて新しい学問、数千年の歴史を持つ生薬学。

天倉 吉章 教授
好村 守生 講師

医薬品化学研究室



新しい化合物のデザインに挑戦する。

岩村 樹憲 教授

有機化学研究室



薬学の「第二の言語」を修得し、薬学の進歩に貢献。

河瀬 雅美 教授
栗原 健一 准教授

臨床薬学教育研究センター[医薬情報解析学]



現場に出る前に、医薬品に限らない幅広い知識を修得。

柴田 和彦 教授
川崎 博巳 教授
相良 英憲 講師

薬理学研究室



薬の作用をしっかり理解した優秀な薬剤師になるために。

古川 美子 教授
中島 光業 准教授

臨床薬学教育研究センター[臨床薬学]



現場での経験をもとに医療人として必要なことを伝える。

難波 弘行 教授
秋山 伸二 准教授

製剤学研究室



患者さんの視点で化合物を「くすり」にする。

湯浅 宏 教授
坂本 宜俊 講師

薬品物理化学研究室



化学物質の基本的性質を追究し、新しい反応場での創薬に挑む。

畠 晶之 准教授
山内 行弘 准教授

感染症学研究室



世界を救う使命を帯び、新たな分野への可能性にも挑む。

牧 純 教授
玉井 栄治 准教授

生理化学研究室



分野の枠を超えた視点で神経細胞の仕組みを研究。

松岡 一郎 教授
中村 真 准教授

生物物理化学研究室



微生物の研究を通して細胞の情報処理の仕組みを解明。

生物物理化学は、生物現象を物理化学的または物理的な考え方で理解する学問です。新しい測定法を開発することによって研究を進めます。なかでも私たちは、細胞膜の物質透過を研究しています。

衛生化学研究室



薬の体内での動きのメカニズムを解明、予測し、制御する。

薬は投与した部位から作用部位へ到達して、はじめてその効果を発揮します。この薬の効果や毒性の発現に大きくかかる体内での動き(薬物動態)を解明、予測、制御し、より良い医薬品の開発や適正使用へと繋がる研究をしています。

薬剤学研究室



薬の体内での動きのメカニズムを解明、予測し、制御する。

薬は投与した部位から作用部位へ到達して、はじめてその効果を発揮します。この薬の効果や毒性の発現に大きくかかる体内での動き(薬物動態)を解明、予測、制御し、より良い医薬品の開発や適正使用へと繋がる研究をしています。

学生コメント Student Voice

薬用植物園

生きた植物の標本園として、教育・研究に生かされる。

薬学部がある文京キャンパスから北に約200メートル、御幸キャンパスの一画に広がる薬学部附属の薬用植物園。

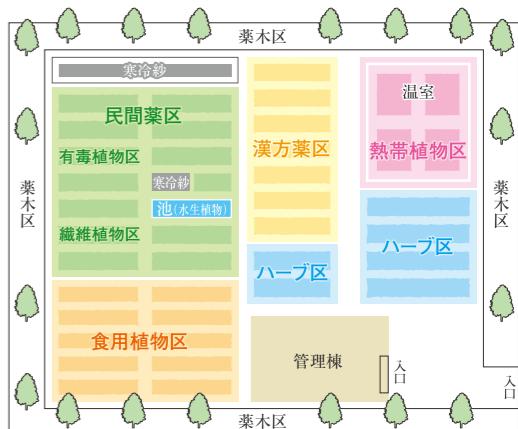
ここはさまざまな教育・研究に欠かせない、生きた植物の標本園として使用されています。一方で、松山市民にも定期的に開放され、地域に「開かれた場」として親しまれています。



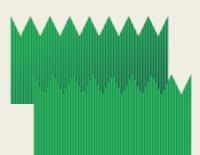
総面積1,806m²の薬用植物園。

自然の丘陵地をそのまま生かして設計された御幸キャンパス内に、総面積1,806平方メートルの薬用植物園があります。園内には栽培圃(ほ)場や温室が設置され、珍しい「熱帯・亜熱帯」植物を含む、国内外のいろいろな「薬草・薬木」を整備しています。「薬用植物学」「生薬学」「漢方学」などの授業において使われるほか、管理棟では有用植物調査や種の保存、さく葉標本整備なども行われています。また、薬学部の学生が中心となって立ち上げたサークル「薬用植物研究会」の活動の場にもなっています。植物園の薬草・薬木の種類や数は年々充実し、一般開放では毎年多くの人が訪れます。

● 薬用植物園のご案内



薬草トリビア



生魚を食する日本人は、昔から料理が腐らないためのさまざまな工夫を取り入れてきました。例えばお寿司。抗菌・殺菌作用に優れた「ハラン(葉蘭)」を使用し、腐敗を防いでいたのです。この工夫が、現在では少し形を変えて、別の用途に使用されているのをご存知でしょうか? お弁当などに入っている緑色のギザギザした「バラシ」、実はこの「ハラン」を模したものです。今では装飾として用いられていますが、元は料理をおいしく保つための知恵だったのです。

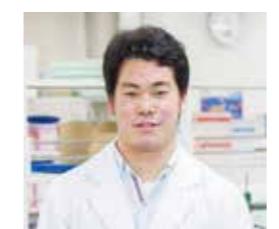
TOPICS 薬用植物園一般公開

ボランティアで学生がガイド。クイズなどで楽しみながら、薬草の知識を深めてもらおう。

春と秋の年2回、薬学部附属の薬用植物園を一般に公開しています。園内では、栽培している薬草の効果の説明やクイズなどを実施。参加者の皆さんに、楽しみながら薬草の知識を深めもらうことができます。さらに、同時開催で薬草展や公開講座、薬剤師によるお薬相談なども実施しています。また、薬用植物園はこの一般公開のほかにも、オープンキャンパスなどで随時見学することができます。



学生コメント Student Voice



奥山 宗紀 さん
薬学部 医療薬学科 4年
福岡県立 鶴翔館中等教育学校 出身

授業などで知った植物を実際に見て、感じることで、よりリアルに学びを深めることができます。



薬用植物園にはさまざまな植物があります。例えば抗がん剤に使われるニチニチソウは、とても可憐なピンクの花。甘味料として用いられるステビアの葉は、噛むと甘い。そうした植物を実際に見て、感じることで、よりリアルに学びを深めることができます。春と秋には一般公開もしています。私が部長を務める薬用植物研究会のメンバーがガイド役となり、「シソ科の植物は茎が四角いんですよ」と豆知識を交えながら説明すると、皆さん興味深く聞いてくださいます。まだ空いている土地もあるので、ぜひ有効活用したいですね。

薬学部棟(9号館)

先端の研究に対応できる環境を整えた、薬学部の拠点。

松山大学の9号館こと薬学部棟は、6年間を過ごすことになる薬学部の教育・研究の活動拠点です。環境に配慮した設計が特徴の地上10階、地下1階の威容を誇る建物は、キャンパス内でもひとくわ印象的。このなかに講義室、図書館薬学部分室、演習室をはじめ、5年次の病院・薬局実務実習に備えるための総合調剤実習室や模擬病室も設置されています。機器センターには、最新の機器を取りそろえ、さまざまな先端研究に対応できる環境を実現しています。



2F 講義室 (920番教室)

薬学部の専門教育科目のうち、主に講義科目で使われる教室です。さまざまなAV機器を備え、視聴覚教材を用いた講義にも対応しています。また、全座席からLAN回線へ接続することができます。



2F ロビー

1階のエントランスから階段を2階に上ると、そこは開放的な広いロビー。ざらりと並んだテーブルとイスで、学生たちは講義や実習の合間にくつろいだり、情報交換したりすることができます。



1F 機器センター

日本薬局方の確認試験で使用するフーリエ変換赤外分光光度計、遺伝子の塩基配列を決定するDNAシーケンサーなど、薬学研究に必須の実験機器がそろっています。



1F NMR室

複雑な有機化合物の構造(分子を構成する原子同士のつながり)の解析や生体成分の分析には欠かせない、NMR(核磁気共鳴)装置を設置しています。



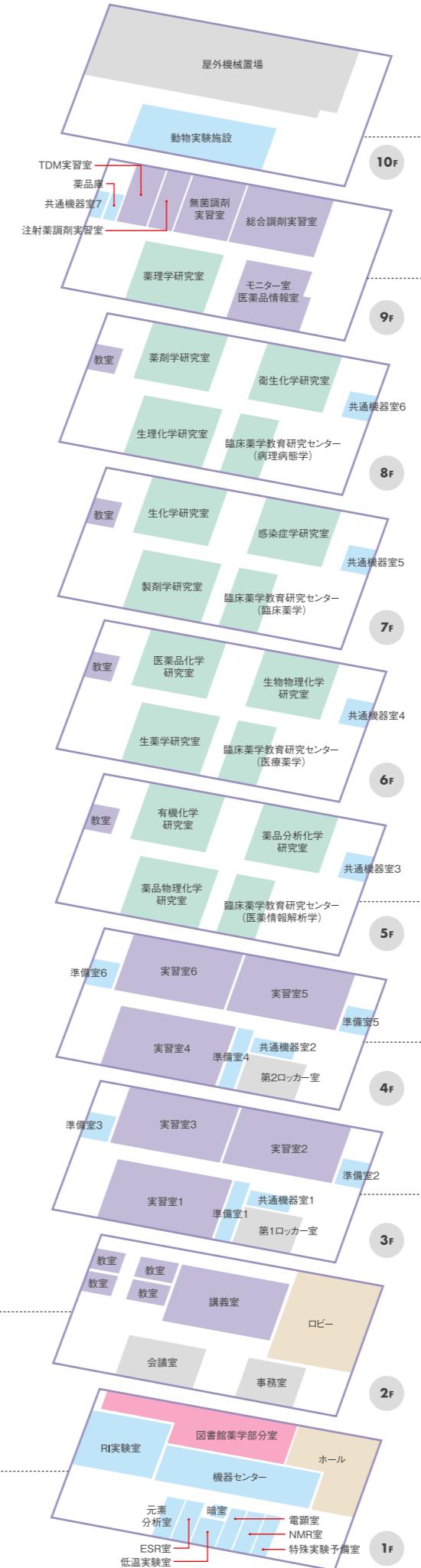
1F 電顕室

物質表面の微細な構造を立体的に観察することができる走査型電子顕微鏡と原子間力顕微鏡を備えています。



1F 図書館薬学部分室

薬学部棟内には図書館の分室があり、薬学に関する学術書や雑誌が充実しています。講義などで使用する参考書のほか、薬剤師国家試験対策の参考書も多く所蔵。パソコンを備えた自習スペースも併設されています。



10F 動物実験施設



薬の作用解析や開発研究において、人体のモデルとして使われる実験動物。ここでは、実験用のラットやマウスを飼育しています。

9F 総合調剤実習室 (模擬薬局、模擬病室)



薬剤師にとって最も基本的な仕事の一つである調剤業務を修得する施設です。ここで病院や薬局の現場を疑似体験し、5年次における病院・薬局実習に臨むことになります。

5-9F 研究室

5~9階には、薬学の先端領域に挑む13の研究室と臨床薬学教育研究センターがあります。4年次の研究室配属後は、ここが主要な学習拠点になります。



3-4F 実習室

実習室は、主要科目の一つであり、五感を通して薬学を学ぶ実習科目において使われます。化学系、物理系、生物系の3分野とともに、基礎系と応用系の実習室があります。





キャンパスカレンダー

Campus Calendar

年間を通して松山大学にはイベントや行事が盛りだくさん。

勉強はもちろん、大学ならではの魅力あふれる

体験が待っています。

さあ、とておきの学生生活を!



4 April

5 May

6 June

7 July

8 August

September

9 September

10 October

11 November

12 December

1 January

2 February

3 March

- 開学記念日(29日)

- 前期試験
- 四国インカレ



- 推薦等入学試験
- 大学祭(熟田津祭)

- 薬剤師国家試験
- 卒業式

- 入学式
- 健康診断
- 新入生ガイダンス
- 新入生オリエンテーション
- 履修登録
- 前期授業開始



- オープンキャンパス
- 新歓祭
- 入試説明会



- オープンキャンパス
- 夏季休暇



大学祭(熟田津祭)

11月
22・23日

松山大学・松山短期大学の大学祭、「熟田津(にぎたつ)祭」。学生によるフードフェス、芸能人のライブやパフォーマンス、ゲストを招いてのシンポジウム、ステージ企画の数々と、とにかく楽しく盛り上がる2日間です。一般の人たちも参加できるので、キャンパス内は学生だけでなく多くの人にぎわいます。このほか、多彩なイベントが催されます。



個性的なライブや
パフォーマンスが
目白押し!

Campus Life!!



キャンパスライフを
楽しもう!

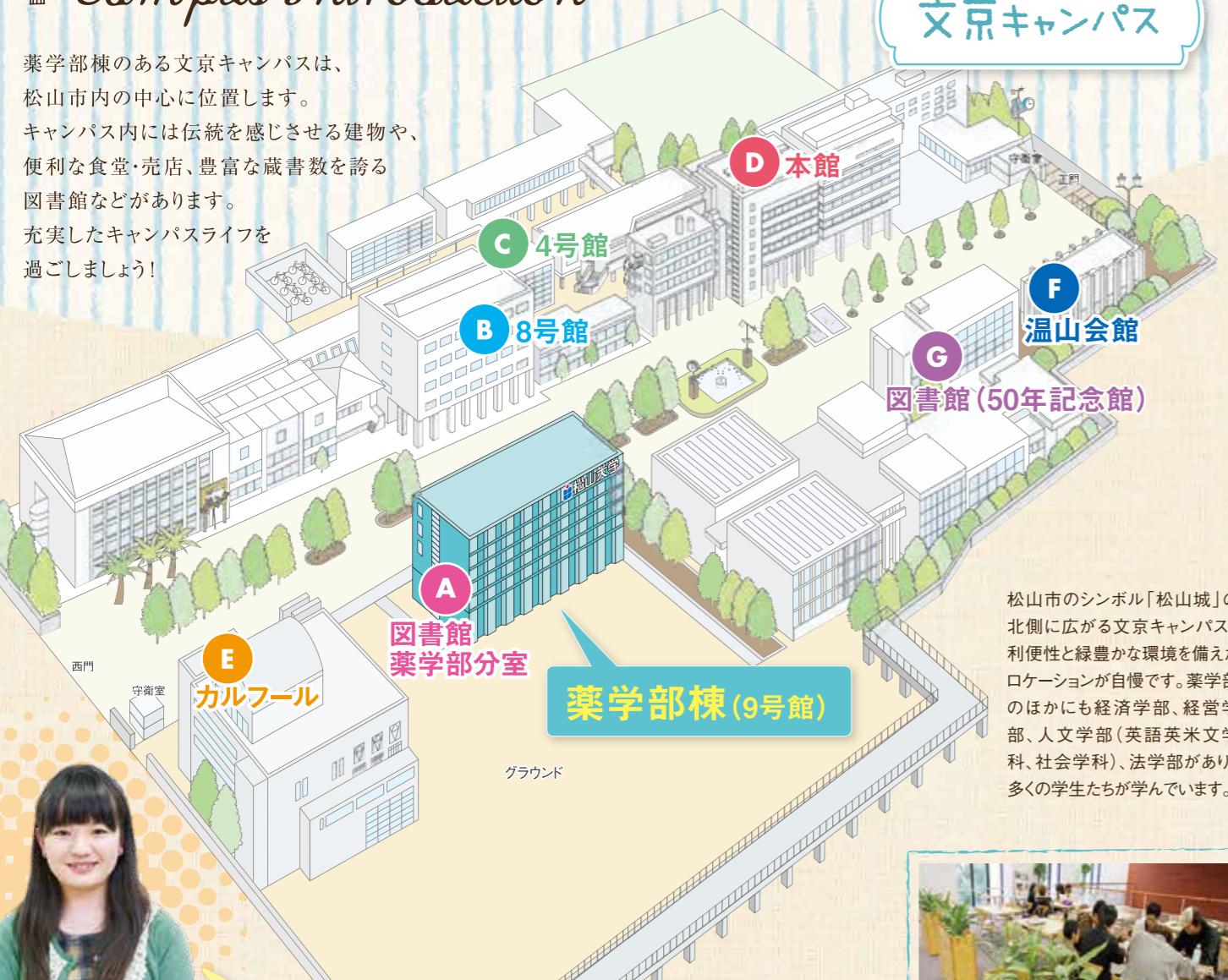
文京キャンパス紹介

Campus Introduction

薬学部棟のある文京キャンパスは、松山市内の中心に位置します。

キャンパス内には伝統を感じさせる建物や、便利な食堂・売店、豊富な蔵書数を誇る図書館などがあります。

充実したキャンパスライフを過ごしましょう！



図書館薬学部分室



薬学に関する学術書、さらには授業で使う参考書や国家試験対策の問題集なども充実しています。パソコン環境が整った自習スペースでは、快適に勉強することもできます。

文京キャンパス



情報処理室(8号館)



パソコンやプリンタを利用できる情報処理室・自習室。パソコンを使った授業やレポートの作成、自習を行うことができます。

AVライブラリー(4号館)



最新のAV装置、CDやDVDなどのソフトが豊富にそろっています。語学の勉強はもちろん、空き時間に映画や音楽を楽しむなど、リラックスして自由に使うことができます。

本館



本館にはキャリアセンターがあります。就職や進路に関する相談はここへ。5,000社を超える会社別ファイルや、各種企業の情報・資料が充実しています。

温山会館



本学設立に尽力した三恩人（新田長次郎、加藤恒忠、加藤彰廉）の足跡などを紹介。91年の歩みと伝統を物語る史料が数多く展示された、歴史の館です。

4 インフォメーション

カルフル



カルフルはフランス語で「交差点」の意味。メニュー豊富なカフェテリアをはじめ、生協ショップ、会議室、大ホール、談話コーナーなどを備えた、交流拠点です。



カルフルはとにかく便利! 食事はもちろん、文具や書籍も買えて、旅行の申し込みまでできるんです。

図書館(50年記念館)



創立50年の記念館として建設された図書館。中・四国の私立大学でもトップクラスの蔵書を誇ります。情報化時代に対応した環境を整え、一般開放もしています。



御幸キャンパス

彰廉館（武道館）、メインアリーナ、50m公認プールなど、各種スポーツ施設が整備された御幸キャンパス。温室を備えた、総面積1,806m²の薬用植物園もこの一画に広がっています。



久万ノ台グラウンド

陸上競技場や野球場がある、見晴らしのいい久万ノ台グラウンド。敷地内には本学の卒業生で、アテネおよび北京五輪女子マラソンに出場した土佐礼子選手の足形モニュメントも。

ロケーション(松山タウン情報)

Matsuyama City Location

人口が50万人を超える、
四国最大の中核都市、松山。
とても住みやすい温暖な街のそこここに、
素敵なお店やスポットがあります。
いくつかをちょっとのぞいてみましょう。



大街道/銀天街エリア



何といっても、松山市内で一番にぎやかのがこのエリア。
道幅が広く、どこまでも続くアーケードの下に、たくさんのショップが並んでいます。
放課後や休日に友達と出かけてみませんか?



【Amitie le mas de Provence】 アミティエ・ル・マ・ドゥ・プロヴァンス

フランスの田舎料理が楽しめるお店。美味しい料理だけでなく、アットホームな雰囲気や接客も魅力! チョイスが面白い雑貨もあり、居るだけで楽しめるお店です。



【mono + CLIP ANNEX】 モノクリップ アネックス

キッチンやガーデン雑貨、文具、レザーなど、ナチュラル雑貨・フランスアンティーク雑貨が集まるショップ。広い店内は時間かけてのんびりとお気に入りを探せそう!

オススメPoint

文京キャンパスから自転車で10分!
便利で快適なキャンパスライフです。



大学周辺エリア

学生にはうれしいお手ごろ価格の食べ物屋さん、
ちょっと雰囲気のいいお店などが点在する大学周辺エリア。
授業の合間やランチタイムに利用するのもおすすめです。どれも徒歩圏内にあります。



【元帥】げんすい

安くて美味しいボリューム満点の中華料理店。がっつり食べたい学生にはうれしいお店です。



【さくら食堂】

松山の学生を支える食堂。とにかく安くて美味しい、お腹いっぱいになるメニューが充実。学生限定で1時間の皿洗いと引き換えにごはんが食べられる面白いサービスもあり!

道後エリア

聖徳太子も入ったとされる日本最古の名湯・道後温泉。
観光客が絶えないこのエリアにも、ぜひ足を延ばしてみましょう。
道後本館周辺はいつも活気にあふれ、おいしいお店や土産物屋さんもいろいろ。



オススメPoint

からくり時計のそばの足湯は無料で利用できるのがうれしい!



【道後温泉本館】

現在の木造三層楼は1894年に改築されたもの。館内には2種類の浴場があり、湯は無色透明の掛け流し。



【観光人力車】

本館前に観光人力車がいて、周辺をゆっくり散策できる。道後商店街や「松山市立子規記念博物館」などをぐるり。



■ 奨学金

主な奨学生の種類

| | 支給の種類 | 支 給 額 | 支 給 対 象 |
|-------------------------|-------|---|---|
| 日本学生支援機構奨学生 | 貸与型 | 第一種(無利子) 30,000~64,000円／月 第二種(有利子) 30,000~140,000円／月 | 独立行政法人日本学生支援機構は、日本育英会より承継され、育英奨学事業を行う機関です。経済的理由により修学が困難な学生を対象としています。薬学部の第二種奨学生は、最高月額(12万円)に月額20,000円をさらに増額して貸与を受けることができます。 (ホームページURL: http://www.jasso.go.jp) |
| 松山大学奨学生 | 給付型 | 30,000円／月 | 経済的理由により修学困難で、学業・人物ともに優秀な学生を対象としています。 |
| 松山大学温山会奨学生 | 給付型 | 10,000円／月 | 本学の同窓会組織「温山会」が設立した奨学生制度です。学業・人物ともに優秀な全学年を対象としています。 |
| 松山大学特別奨学生 | 給付型 | 授業料・教育充実費 の全額または半額 | 突然的な事由(主たる家計支持者の死亡、失職等および天災その他の災害)により、学費の支弁が著しく困難になった者を対象としています。 |
| 松山大学父母の会奨学生 | 給付型 | 文系学部 204,000円／年 薬学部 534,000円／年 | |
| 星川奨学生 | 給付型 | 30,000円／月 | 学業・人物ともに優秀な者(薬学部は3年次生以上)を対象としています。 |
| 村田奨学生 | 給付型 | 20,000円／月 | 学業・人物ともに優秀な愛媛県出身の2年次生以上を対象としています。 |
| 三浦教育振興財団奨学生 | 給付型 | 30,000円／月 | 学業・人物ともに特に優秀な者および外国人留学生を対象としています。 |
| 松山大学薬学部提携特別教育ローン利子給付奨学生 | | | 本学が提携する金融機関の教育ローンについて、在学中の借入金利息相当額(入学金、授業料、教育充実費を対象とする)を奨学生として支給します。 |

この他、各地方自治体・民間団体が運営している奨学生の募集もあります。

■ 納付金

学費・諸費

| 区分 | 単位／円 | | | | | |
|-------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 1年次 (入学年度) | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 |
| 入学金 | 200,000 | — | — | — | — | — |
| 授業料* | 1,600,000 | 1,600,000 | 1,600,000 | 1,600,000 | 1,600,000 | 1,600,000 |
| 教育充実費 | 400,000 | 400,000 | 400,000 | 400,000 | 400,000 | 400,000 |
| 計 | 2,200,000 | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 |

*在学中に授業料・教育充実費の改定を行った場合は、改定後の授業料・教育充実費を適用します。

*授業料には、学内の実験・実習費や医療現場での長期実務実習費および薬剤師国家試験対策費を含みます。

*入学金および授業料・教育充実費以外の学費は徴収いたしません。上記学費の他に諸会費等委託徴収分として、第1年度46,840円、第2年度以降20,000円程度が必要です。

*金額は2014年度実績です。

■ 学生サポート

新入生サポートセンター

一人暮らしを希望する人のための部屋探し、新生活用品や教材の提案など、新生活準備全般のサポートをするのが、新入生サポートセンターです。知りたい、または気になるさまざまな質問や相談に、本学の先輩たちがアドバイザーとなって答えます。

一人暮らしの平均家賃は?

部屋探しについて、実際に松山で暮らしている先輩アドバイザーが、学生ならではのアドバイスをしながらサポート。平均家賃は8~10畳の部屋で、約3~4万円が目安。松山は学生の街なので、安く良い物件がたくさんあります。24時間サポート付きの、生協が管理する生協マンションは、保護者の方にも安心。そのほか、松山市内の主要な不動産業者と提携しているので、大学生協に来店すれば、多くの物件を一度に調べることができます。紹介している物件は、ほとんどが大学から自転車で10分以内のエリア。通学にも便利です。



食育プログラム「ミールカード」

乱れがちな大学生の食生活。ついつい支出を抑えて食費も削ってしまいがち…。そんな不安を解消し、健康的な食生活をサポートする食育プログラムが、ミールカードです。1年間、1日の限度額まで生協食堂を自由に利用できるので、「ちゃんと食べているの?」と心配な保護者の方にも安心。利用履歴も分かり、食生活相談を受けることなど、学生自身が健康維持に努められるよう工夫しています。さらにうれしいのは、使えば使うほど経済的であること。たくさんの安心と便利がつまた、人気のカードです。

| 提供価格 | 男子:135,000円 女子:111,000円 |
|-------|---|
| 利用期間 | 1年間 |
| 1日限度額 | 通常営業日(7:50~20:00) 1,000円 短縮営業日(11:30~14:00) 700円 |



カウンセリングルーム

「ちょっと寄って話を聞いてもらおうかな」と気軽に気持ちで利用することができるカウンセリングルーム。落ち着いた雰囲気のなかで、学生生活や対人関係、成績、就職のことなど、さまざまな悩み相談に応じます。

| 場所 | 1号館 2階(月~金) |
|------|--|
| 開室時間 | 10:15~11:45[2時間] 14:15~15:45[4時間] 16:00~17:30[5時間] |



イベント情報

松山大学薬学部と薬学の世界を広く知ってもらうために、さまざまなイベントを開催しています。ぜひ参加してみてください。

※開催日時など詳細はホームページ、携帯サイトなどでご確認ください。

公開講座

松山大学薬学部では年間を通していろいろな公開講座を実施しています。薬や健康に関すること、薬剤師の使命や役割、チーム医療についてなど、テーマは多様です。興味のある人は参加することができます。



主な公開講座テーマ(2013年度実績)

| |
|-----------------------------|
| 病棟薬剤業務に伴う薬剤師による臨床・教育・研究の将来像 |
| 薬剤師の将来ビジョン |
| 循環器疾患治療薬の使い方・副作用を中心として一 |
| チーム医療(感染症)について |
| 共同薬物治療管理～医師と薬剤師の新たな連携～ |

薬学部施設見学

機器センター、実習室、模擬薬局、図書館薬学部分室など、薬学部生が普段使っている施設を見学できるツアー。各教室では薬を使った実験や薬局業務の実習も行います。



薬用植物園一般公開

薬学部附属の薬用植物園を春季と秋季に一般公開しています。園内では、栽培している薬草の効果の説明やクイズなどをを行い、楽しみながら薬草の理解を深めることができます。なお、薬用植物園は、このイベント以外にもオープンキャンパスなどで随時見学を受け付けています。



薬学部1日体験入学

松山大学薬学部の研究者と直接触れ合い、大学の研究成果を肌で感じてもらうことができるイベントです。参加者は導入講義を受けた後、5つのコースに分かれて、実験を体験します。



これまでに実施したテーマ

| |
|------------------------------|
| 医薬品の合成を体験しよう |
| 飲み薬の“一生”を知る |
| オワンクラゲの蛍光タンパク質が照らす生きている細胞の世界 |
| 薬のはたらきを自分の目で見て確かめよう |
| 模擬薬局で薬剤師の仕事を体験しよう |

お問い合わせ先

薬学部棟や薬用植物園の見学、一日体験入学も随時受け付けておりますので、薬学部事務室までお気軽にお問い合わせください。

松山大学 薬学部事務室
TEL 089-926-7193

2014 オープンキャンパス

第1回
6月 1(日)
新歓祭 同時開催

第2回
8月 2(土)・3(日)

●個別相談(各学部・就職・海外研究・学生生活など)

●模擬講義

●松大生と歩こう! キャンバスツアーセンター

●センター試験対策講座(8月)

●小論文対策講座(6月)

●面接対策講座(8月)



無料送迎バスも運行します。
中国四国各エリアから松山大学までの無料往復バスを運行します。各地区ともJR駅前に集合予定です。

※参加いただいた方には、松山大学オリジナルグッズなどをプレゼントします! 詳しくは、チラシ、ホームページ、携帯サイトをご覧ください。

最新情報はホームページでチェック!

各学科のオリジナルページや松山大学の歴史、キャンパス情報、入試情報、学生生活情報など、最新の情報が盛りだくさん!

<http://www.matsuyama-u.ac.jp/>
E-mail mu-yakugaku@matsuyama-u.jp

携帯でも最新情報をチェック!

